

「びゅうフラガ店舗の見直しについて」提案受ける！ No.2

なぜ営業終了の時期が違うのか

グリーンスタッフの方が店舗間で異動したいとなることも考慮してズラした。また、営業終了後に機器の撤去をするが2箇所同時だと大変だということもある。

これまで奮闘されてきた旅行業で働く方の想いをどのように受け止め今後の活躍を期待しているのか

これまでも各店舗ではイベントやお客さまに満足してもらえるように努力してもらっていることは誰もが認めるところである。「駅の変革」の社員説明で店舗を閉鎖していくことは話したが、今提案以降初めて営業終了の日付も知ることになる。接客してきた中でお客さまのニーズや旅行業の喜びを感じてもらって、今後は個人面談等で希望を聞いて全員希望通りとならないかもしれないが最善の方向で進める。

グリーンスタッフの今後の働き方はどうなるのか

- ・駅への転換、他店舗への異動、VTSへの出向の3つの選択肢がある。最大4回の契約更新で5年間の雇用期間は守っていく。
- ・駅で働くとなった場合に社員と同様に泊まりも含めて出改札をしてもらうことになる。
- ・家庭環境等で泊まりが難しい方もいると思うが、育児介護A・Bや養育休暇もあるので本人と面談をしながらどういった働き方が良いか話していく。

社員の今後の働き方はどうなるのか

今後面談をして任用の基準になる。これまでマルスを操作した経験があるのであれば駅も選択肢の一つとなる。あるいは旅行業をやってきて駅社員よりはお客さまニーズや地域に詳しいということで観光開発業務ということもある。場所にとらわれずに様々な活躍を目指してほしいという思いはある。

面談について

- ・この施策に関する個人面談を新たに行う。面談の他にも普段のコミュニケーション含めて把握していく。
- ・大曲駅に関しては準備が出来たら速やかに進めていく。

その他の議論

- ・駅へ異動となった場合は何を覚えなければいけないか把握しながら必要な教育をしていく。
- ・旅行業商品の払い戻しに関して基本は発売箇所となるので、大曲であれば10月1日、弘前であれば4月1日以降の商品は発売しない。
- ・営業終了後は残務処理として1ヶ月間社員を残す。
- ・びゅう跡地の活用方について、弘前駅だと待合室が少ないということもある。立地条件が良いので観光拠点として活用することを検討している。
- ・大人の休日会員への即日入会ができなくなるが今後はネット加入に移行していく。旅行したいというニーズは変わらないので直結して加入が下がるとは捉えていない。

旅行業で働く社員・グリーンスタッフが今後もモチベーションを維持し働けるよう議論していきます！